

## 学長の業績評価について

令和3年11月4日  
京都府立大学学長選考会議

京都府立大学学長業績評価規程に基づき、塚本 康浩 学長の令和2年度の業績評価を行いましたので、同規程第6条の規定により、下記のとおりその結果を公表します。

### 記

#### 1 評価方法

学長業績評価規程第3条の規定により、①所信表明書等の達成状況、②年度計画の実施状況を確認するとともに、③学長から選考時の所信についての自己評価をヒアリングにより聴取し確認した。

#### 2 評価結果

所信表明書等の達成状況及び年度計画の実施状況を確認したところ、京都府立大学の学長として、誠実にその職責を果たし、大学運営・改革に努力し、着実に成果を挙げているものと評価できる。

##### (特記事項)

- 学部、学科再編に係る学長案を提示し、学部学科での具体的な検討を促すとともに、京都府や法人本部とも調整を行い、「新生・府立大学の実現に向けた教育研究体制の改革と施設整備」について、大学としての方向性をとりまとめた。
- 「AIデータサイエンス教育研究センター」や「京の防災防疫安全安心研究センター」「新自然史科学創生センター」など学際的な組織を創設し、大学の新たな教育研究を展開するとともに、京都府の行政課題にも対応して地域貢献を推進した。

##### (参考)

- 評価のスケジュール
  - 10月14日(木) 評価手順の協議・決定  
年度計画の評価状況の確認
  - 10月28日(木) 学長ヒアリングの実施  
評価内容の協議、評価結果のとりまとめ
- 学長選考会議委員
  - 八田 英二(学校法人同志社 総長・理事長)
  - 渡部 隆夫(株式会社寿光 代表取締役)
  - 藤井 和男(京都府公立大学法人 理事・事務総長)
  - 青地 伯水(京都府立大学 文学部長)
  - 桂 明宏( 同 公共政策学部長)
  - 古田 裕三( 同 生命環境科学研究科長)